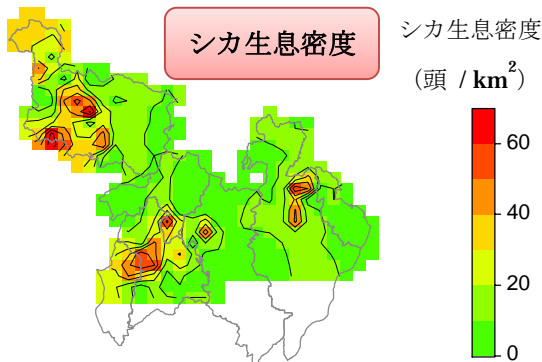
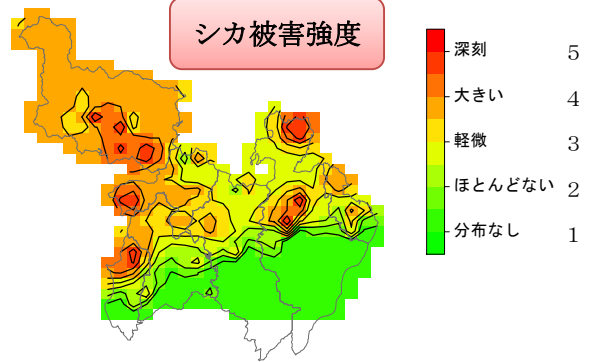


第3期計画	第4期計画
<p>計画の期間 平成 27 年 5 月 29 日～平成 29 年 3 月 31 日</p>	<p>計画の期間 平成 29 年 4 月 1 日～平成 34 年 3 月 31 日</p>
<p>生息の現状 (2) 生息動向及び捕獲状況 ① 生息動向</p>	<p>生息の現状 (2) 生息動向及び捕獲状況 ① 生息動向 淀川以南への分布拡大の可能性を記載。</p>
<p>管理の目標 (1) 大阪府シカ第二種鳥獣管理計画(第3期)の評価 (2) 管理の目標 平成 22 年度の被害金額及び被害面積の半減 平成 22 年度の捕獲数(約 700 頭)以上の捕獲</p>	<p>管理の目標 (1) 大阪府シカ第二種鳥獣管理計画(第4期)の評価 (2) 管理の目標 シカ生息地域の平均密度 10 頭/km² 以下 (年間最低捕獲数を 1,400 頭とする。モニタリング調査の結果を踏まえ、必要に応じて見直しを行う。)</p>

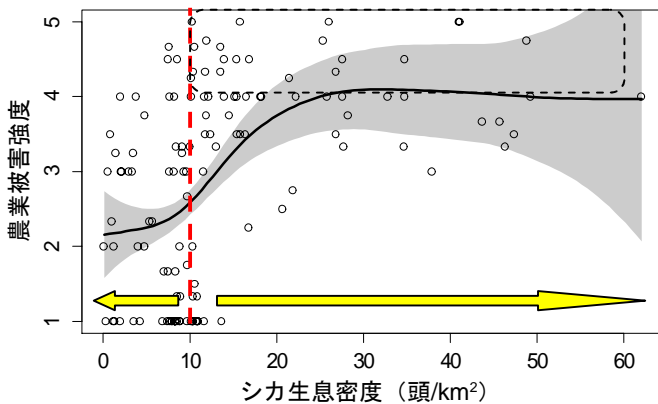


北摂地域の約 100 箇所に 4m×50mの調査区を設置し、糞塊を数え、生息密度を推定。



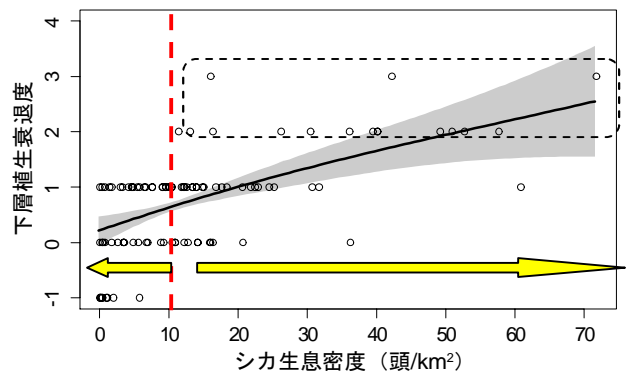
農業集落代表者対象に農業被害のアンケートを実施。(回答数：1,148 集落)

シカ生息密度と農業被害強度



- ・ 10 頭/km² 程度を上回ると被害強度が著しく増加
- ・ 10 頭/km² 程度を境に被害強度が 4 より大きい地域が発生

シカ生息密度と森林植生衰退度



- ・ シカ生息密度増加にともない、森林の下層植生衰退度が増加
- ・ 10 頭/km² 程度を境に衰退度 2 (植被率 43.5%未満 23.5%以上) 以上の地域が発生

農林業被害の軽減及びシカと人間との長期にわたる安定的な共存を図るために、生息地の平均密度を 10 頭/km² に減らす。